



# 管理ノード REST API を操作する

## Element Software

NetApp  
November 12, 2025

# 目次

管理ノードREST APIを操作する	1
管理ノード REST API UI の概要	1
承認	1
資産構成	1
資産運用管理	1
REST APIを使用するための承認を取得する	1
Active IQとNetAppの監視を有効にする	3
複数の vCenter 用にNetApp Hybrid Cloud Control を構成する	5
管理ノードにコントローラアセットを追加する	6
ストレージ クラスター アセットの作成と管理	8
ストレージ クラスター アセットのインストール ID とクラスタ ID を取得します。	9
新しいストレージクラスター アセットを追加する	10
ストレージ クラスター アセットの保存された資格情報を編集する	11
ストレージ クラスター アセットを削除する	12
既存のコントローラアセットを表示または編集する	13
管理サービスREST APIにアクセスする	13
既存のコントローラに関する保存された情報を表示する	14
既存のコントローラのステータスを表示する	14
コントローラーの保存されたプロパティを編集する	14
プロキシサーバーを構成する	15
管理ノードのOSとサービスのバージョンを確認する	16
APIコマンドを使用します。	17
REST API UI の手順	17
管理サービスからログを取得する	18

# 管理ノード REST API を操作する

## 管理ノード REST API UI の概要

組み込みの REST API UI を使用する(<https://<ManagementNodeIP>/mnode>) では、プロキシ サーバーの構成、サービス レベルの更新、資産管理などの管理ノード サービスに関連する API を実行したり理解したりできます。

REST API で実行できるタスク:

### 承認

- "REST API を使用するための承認を取得する"

### 資産構成

- "Active IQ と NetApp の監視を有効にする"
- "管理ノードのプロキシサーバーを構成する"
- "複数の vCenter 用に NetApp Hybrid Cloud Control を構成する"
- "管理ノードにコントローラアセットを追加する"
- "ストレージ クラスター アセットの作成と管理"

### 資産運用管理

- "既存のコントローラアセットを表示または編集する"
- "ストレージ クラスター アセットの作成と管理"
- "REST API を使用して Element システムログを収集する"
- "管理ノードの OS とサービスのバージョンを確認する"
- "管理サービスからログを取得する"

### 詳細情報の参照

- "管理ノードにアクセスする"
- "vCenter Server 用 NetApp Element プラグイン"
- "SolidFire および Element ソフトウェアのドキュメント"

## REST API を使用するための承認を取得する

REST API UI で管理サービス用の API を使用する前に、承認する必要があります。これはアクセス トークンを取得することによって行います。

トークンを取得するには、クラスター管理者の資格情報とクライアント ID を提供します。各トークンの有効

期限は約 10 分です。トークンの有効期限が切れた後は、新しいアクセストークンを再度承認できます。

承認機能は、管理ノードのインストールおよびデプロイメント中に自動的に設定されます。トークンサービスは、セットアップ時に定義したストレージ クラスターに基づいています。

開始する前に

- ・クラスター バージョンでは、NetApp Element ソフトウェア 11.3 以降が実行されている必要があります。
- ・バージョン 11.3 以降を実行している管理ノードをデプロイしておく必要があります。

## APIコマンド

```
TOKEN=`curl -k -X POST https://$MVIP/auth/connect/token -F client_id=$node-client -F grant_type=password -F username=$CLUSTER_ADMIN -F password=$CLUSTER_PASSWORD|awk -F':|' '{print $2}'|awk -F',' '{print $1}'|sed s/\"//g`
```

## REST API UI の手順

1. 管理ノードのIPアドレスに続けてサービス名を入力して、サービスのREST API UIにアクセスします。例: /\$node/ :

```
https://<ManagementNodeIP>/mnodes/
```

2. \*承認\*を選択します。



あるいは、任意のサービス API の横にあるロック アイコンを選択することもできます。

3. 以下の項目を完了してください。

- a. クラスターのユーザー名とパスワードを入力します。
- b. クライアントIDを入力してください \$node-client。
- c. クライアントシークレットの値を入力しないでください。
- d. セッションを開始するには、[承認] を選択します。

4. \*利用可能な承認\*ダイアログボックスを閉じます。



トークンの有効期限が切れた後にコマンドを実行しようとすると、`401 Error: UNAUTHORIZED`メッセージが表示されます。これが表示された場合は、再度承認してください。

## 詳細情報の参照

- ・"vCenter Server 用 NetApp Element プラグイン"
- ・"SolidFire および Element ソフトウェアのドキュメント"

# Active IQとNetAppの監視を有効にする

インストールまたはアップグレード中にまだ有効にしていない場合は、Active IQストレージ監視を有効にすることができます。SolidFireオールフラッシュストレージシステムのインストール中にSolidFire Active IQ を設定しなかった場合は、この手順を使用する必要がある場合があります。

Active IQコレクター サービスは、構成データと Element ソフトウェアベースのクラスター パフォーマンスマトリックをSolidFire Active IQに転送し、履歴レポートとほぼリアルタイムのパフォーマンス監視を実現します。NetApp監視サービスを使用すると、ストレージ クラスターの障害を vCenter に転送してアラート通知を受け取ることができます。

開始する前に

- Active IQの一部の機能 (サービス品質 (QoS) など) が正しく動作するには、Element 11.3 以降が必要です。すべてのActive IQ機能を使用できることを確認するために、NetApp次のことを推奨します。
  - ストレージ クラスターはNetApp Elementソフトウェア 11.3 以降を実行しています。
  - バージョン 11.3 以降を実行している管理ノードをデプロイしました。
- インターネットにアクセスできます。Active IQコレクター サービスは、外部接続のないダーク サイトからは使用できません。

手順

1. インストールの基本アセット ID を取得します。
  - a. 管理ノードでインベントリ サービス REST API UI を開きます。

```
https://<ManagementNodeIP>/inventory/1/
```
  - b. \*承認\*を選択し、以下を完了します。
    - i. クラスターのユーザー名とパスワードを入力します。
    - ii. クライアントIDを入力してください mnode-client。
    - iii. セッションを開始するには、[承認] を選択します。
    - iv. ウィンドウを閉じます。
  - c. REST API UI から、**GET /installations** を選択します。
  - d. \*試してみる\*を選択します。
  - e. \*実行\*を選択します。
  - f. コード200のレスポンス本文から、`id`インストール用。

```
{
  "installations": [
    {
      "_links": {
        "collection": "https://10.111.211.111/inventory/1/installations",
        "self": "https://10.111.217.111/inventory/1/installations/abcd01e2-ab00-1xxx-91ee-12f111xxc7x0x"
      },
      "id": "abcd01e2-ab00-1xxx-91ee-12f111xxc7x0x",
    }
  ]
}
```



インストールには、インストールまたはアップグレード中に作成された基本アセット構成があります。

## 2. テレメトリを有効にする:

- 管理ノードのIPアドレスに続けて入力して、管理ノードのmnodeサービスAPI UIにアクセスします。  
/mnode :

```
https://<ManagementNodeIP>/mnode
```

- \*承認\*または任意のロックアイコンを選択し、次の手順に従います。

- クラスターのユーザー名とパスワードを入力します。
- クライアントIDを入力してください mnode-client。
- セッションを開始するには、[承認] を選択します。
- ウィンドウを閉じます。

- 基本アセットを構成します。

- \*PUT /assets/{asset\_id}\*を選択します。
- \*試してみる\*を選択します。
- JSONペイロードに以下を入力します。

```
{
  "telemetry_active": true
  "config": {}
}
```

- asset\_ID**に前の手順のベース ID を入力します。

- \*実行\*を選択します。

資産が変更されるたびに、Active IQサービスが自動的に再起動されます。アセットを変更する

と、設定が適用されるまで少し時間がかかります。

- まだ行っていない場合は、NetApp Hybrid Cloud Control の vCenter コントローラ アセットを管理ノードの既知のアセットに追加します。



NetApp監視サービスにはコントローラ アセットが必要です。

- コントローラー サブアセットを追加するには、**POST /assets/{asset\_id}/controllers** を選択します。
- \*試してみる\*を選択します。
- asset\_id** フィールドに、クリップボードにコピーした親ベースアセット ID を入力します。
- 必要なペイロード値を入力します。`type`として`vCenter`およびvCenter 資格情報。

```
{  
  "username": "string",  
  "password": "string",  
  "ip": "string",  
  "type": "vCenter",  
  "host_name": "string",  
  "config": {}  
}
```



`ip`vCenter の IP アドレスです。

- \*実行\*を選択します。

## 詳細情報の参照

- "vCenter Server 用NetApp Elementプラグイン"
- "SolidFireおよびElementソフトウェアのドキュメント"

## 複数の vCenter 用にNetApp Hybrid Cloud Control を構成する

リンク モードを使用していない 2 つ以上の vCenter からの資産を管理するよう NetApp Hybrid Cloud Control を構成できます。

最近拡張されたインストールにアセットを追加する必要がある場合、または新しいアセットが構成に自動的に追加されなかった場合、最初のインストール後にこのプロセスを使用する必要があります。これらの API を使用して、インストールに最近追加されたアセットを追加します。

### 要件

- クラスタ バージョンでは、NetApp Elementソフトウェア 11.3 以降が実行されています。
- バージョン 11.3 以降を実行している管理ノードをデプロイしました。

### 手順

1. "新しいvCenterをコントローラアセットとして追加する"管理ノード構成へ。

2. 管理ノード上のインベントリ サービス API を更新します。

```
https://<ManagementNodeIP>/inventory/1/
```



代わりに、 NetApp Hybrid Cloud Control UI でインベントリが更新されるまで 2 分間待つこともできます。

a. \*承認\*を選択し、以下を完了します。

i. クラスターのユーザー名とパスワードを入力します。

ii. クライアントIDを入力してください mnode-client。

iii. セッションを開始するには、[承認] を選択します。

iv. ウィンドウを閉じます。

b. REST API UI から、**GET /installations** を選択します。

c. \*試してみる\*を選択します。

d. \*実行\*を選択します。

e. レスポンスからインストールアセットIDをコピーします("id")。

f. REST API UI から、**GET /installations/{id}** を選択します。

g. \*試してみる\*を選択します。

h. 更新を設定 True。

i. インストール アセット ID を id フィールドに貼り付けます。

j. \*実行\*を選択します。

3. 変更を確認するには、 NetApp Hybrid Cloud Control ブラウザを更新します。

## 詳細情報の参照

- "[vCenter Server 用NetApp Elementプラグイン](#)"
- "[SolidFireおよびElementソフトウェアのドキュメント](#)"

## 管理ノードにコントローラアセットを追加する

REST API UI を使用して、管理ノード構成にコントローラー アセットを追加できます。

最近インストールを拡張し、新しいアセットが構成に自動的に追加されなかった場合、アセットを追加する必要がある可能性があります。これらの API を使用して、インストールに最近追加されたアセットを追加します。

### 要件

- クラスタ バージョンでは、 NetApp Elementソフトウェア 11.3 以降が実行されています。

- ・バージョン 11.3 以降を実行している管理ノードをデプロイしました。
- ・管理ノード サービス ビューをNetAppのみの資産に制限するために、vCenter に新しいNetApp HCC ロールを作成しました。見る["vCenterでNetApp HCCロールを作成する"](#)

## 手順

1. インストールの基本アセット ID を取得します。
  - a. 管理ノードでインベントリ サービス REST API UI を開きます。

```
https://<ManagementNodeIP>/inventory/1/
```
  - b. \*承認\*を選択し、以下を完了します。
    - i. クラスターのユーザー名とパスワードを入力します。
    - ii. クライアントIDを入力してください mnode-client。
    - iii. セッションを開始するには、[承認] を選択します。
    - iv. ウィンドウを閉じます。
  - c. REST API UI から、**GET /installations** を選択します。
  - d. \*試してみる\*を選択します。
  - e. \*実行\*を選択します。
  - f. コード200のレスポンス本文から、`id`インストール用。

```
{  
  "installations": [  
    {  
      "_links": {  
        "collection":  
          "https://10.111.211.111/inventory/1/installations",  
        "self":  
          "https://10.111.217.111/inventory/1/installations/abcd01e2-ab00-1xxx-  
          91ee-12f111xxc7x0x"  
      },  
      "id": "abcd01e2-ab00-1xxx-91ee-12f111xxc7x0x",  
    }  
  ]  
}
```



インストールには、インストールまたはアップグレード中に作成された基本アセット構成があります。

- g. REST API UI から、**GET /installations/{id}** を選択します。
- h. \*試してみる\*を選択します。
- i. インストール アセット ID を **id** フィールドに貼り付けます。
- j. \*実行\*を選択します。

- k. レスポンスからクラスタコントローラIDをコピーして保存します("controllerId")を後のステップで使用します。
2. 既存のベースアセットにコントローラサブアセットを追加するには、以下を選択します。

```
POST /assets/{asset_id}/controllers
```

- a. 管理ノードで mNode サービス REST API UI を開きます。

```
https://<ManagementNodeIP>/mnode
```

- b. \*承認\*を選択し、以下を完了します。

- i. クラスターのユーザー名とパスワードを入力します。
- ii. クライアントIDを入力してください mnode-client。
- iii. セッションを開始するには、[承認] を選択します。
- iv. ウィンドウを閉じます。

- c. \*POST /assets/{asset\_id}/controllers\*を選択します。

- d. \*試してみる\*を選択します。

- e. **asset\_id** フィールドに親ベースアセット ID を入力します。

- f. 必要な値をペイロードに追加します。

- g. \*実行\*を選択します。

## 詳細情報の参照

- "vCenter Server 用NetApp Elementプラグイン"
- "SolidFireおよびElementソフトウェアのドキュメント"

## ストレージ クラスター アセットの作成と管理

REST API を使用して、管理ノードに新しいストレージ クラスター アセットを追加したり、既知のストレージ クラスター アセットの保存されている資格情報を編集したり、管理ノードからストレージ クラスター アセットを削除したりできます。

### 要件

- ストレージ クラスタのバージョンでNetApp Elementソフトウェア 11.3 以降が実行されていることを確認します。
- バージョン 11.3 以降を実行している管理ノードがデプロイされていることを確認します。

### ストレージクラスター資産管理オプション

次のいずれかのオプションを選択します。

- ストレージ クラスタ アセットのインストール ID とクラスタ ID を取得します。
- [新しいストレージクラスターアセットを追加する]
- ストレージ クラスター アセットの保存された資格情報を編集する
- ストレージ クラスター アセットを削除する

## ストレージ クラスタ アセットのインストール ID とクラスタ ID を取得します。

REST API を使用して、インストール ID とストレージ クラスターの ID を取得できます。新しいストレージ クラスター アセットを追加するにはインストール ID が必要であり、特定のストレージ クラスター アセットを変更または削除するにはクラスター ID が必要です。

### 手順

- 管理ノードのIPアドレスに続けて、インベントリサービスのREST API UIにアクセスします。

/inventory/1/ :

```
https://<ManagementNodeIP>/inventory/1/
```

- \*承認\*または任意のロックアイコンを選択し、次の手順に従います。
  - クラスターのユーザー名とパスワードを入力します。
  - クライアントIDを入力してください mnode-client。
  - セッションを開始するには、[承認]を選択します。
  - ウィンドウを閉じます。
- GET /installations** を選択します。
- \*試してみる\*を選択します。
- \*実行\*を選択します。

API は、すべての既知のインストールのリストを返します。

- コード200のレスポンスボディから、値を `id` このフィールドはインストールのリストに表示されます。これはインストール ID です。例えば：

```
"installations": [
  {
    "id": "1234a678-12ab-35dc-7b4a-1234a5b6a7ba",
    "name": "my-sf-installation",
    "_links": {
      "collection": "https://localhost/inventory/1/installations",
      "self": "https://localhost/inventory/1/installations/1234a678-
12ab-35dc-7b4a-1234a5b6a7ba"
    }
  }
]
```

7. 管理ノードのIPアドレスに続いて、ストレージサービスのREST API UIにアクセスします。

/storage/1/ :

```
https://<ManagementNodeIP>/storage/1/
```

8. \*承認\*または任意のロックアイコンを選択し、次の手順に従います。

- クラスターのユーザー名とパスワードを入力します。
- クライアントIDを入力してください mnode-client。
- セッションを開始するには、[承認] を選択します。
- ウィンドウを閉じます。

9. \*GET /clusters\*を選択します。

10. \*試してみる\*を選択します。

11. 先ほど保存したインストールIDを `installationId` パラメータ。

12. \*実行\*を選択します。

API は、このインストール内のすべての既知のストレージ クラスターのリストを返します。

13. コード200のレスポンスボディから、正しいストレージクラスタを見つけ、その値をクラスタの `storageId` 分野。これはストレージ クラスター ID です。

## 新しいストレージクラスター アセットを追加する

REST API を使用して、1つ以上の新しいストレージ クラスター アセットを管理ノード インベントリに追加できます。新しいストレージ クラスター アセットを追加すると、管理ノードに自動的に登録されます。

### 要件

- コピーしました [ストレージクラスタIDとインストールID](#) 追加するストレージ クラスターの場合。
- 複数のストレージノードを追加する場合は、"権威あるクラスター"複数のストレージ クラスターのサポート。



権限のあるクラスターで定義されているすべてのユーザーは、NetApp Hybrid Cloud Control インスタンスに関連付けられている他のすべてのクラスター上のユーザーとして定義されます。

### 手順

1. 管理ノードのIPアドレスに続いて、ストレージサービスのREST API UIにアクセスします。

/storage/1/ :

```
https://<ManagementNodeIP>/storage/1/
```

2. \*承認\*または任意のロックアイコンを選択し、次の手順に従います。

- クラスターのユーザー名とパスワードを入力します。

- b. クライアントIDを入力してください mnode-client。
  - c. セッションを開始するには、[承認] を選択します。
  - d. ウィンドウを閉じます。
3. \*POST /clusters\*を選択します。
  4. \*試してみる\*を選択します。
  5. リクエスト本文 フィールドに次のパラメータで新しいストレージ クラスターの情報を入力します。

```
{
  "installationId": "a1b2c34d-e56f-1a2b-c123-1ab2cd345d6e",
  "mvip": "10.0.0.1",
  "password": "admin",
  "userId": "admin"
}
```

パラメータ	タイプ	説明
installationId	string	新しいストレージ クラスターを追加するインストール。このパラメータに、先ほど保存したインストール ID を入力します。
mvip	string	ストレージ クラスターの IPv4 管理仮想 IP アドレス (MVIP)。
password	string	ストレージ クラスターとの通信に使用するパスワード。
userId	string	ストレージ クラスターとの通信に使用するユーザー ID (ユーザーには管理者権限が必要です)。

6. \*実行\*を選択します。

API は、名前、バージョン、IP アドレス情報など、新しく追加されたストレージ クラスター アセットに関する情報を含むオブジェクトを返します。

## ストレージ クラスター アセットの保存された資格情報を編集する

管理ノードがストレージ クラスターにログインするために使用する保存された資格情報を編集できます。選択するユーザーにはクラスター管理者アクセス権が必要です。



以下の手順に従ってください。ストレージ クラスター アセットのインストール ID とクラスタ ID を取得します。続行する前に。

### 手順

1. 管理ノードのIPアドレスに続けて、ストレージサービスのREST API UIにアクセスします。  
/storage/1/ :

```
https://<ManagementNodeIP>/storage/1/
```

2. \*承認\*または任意のロックアイコンを選択し、次の手順に従います。
  - a. クラスターのユーザー名とパスワードを入力します。
  - b. クライアントIDを入力してください mnode-client。
  - c. セッションを開始するには、[承認]を選択します。
  - d. ウィンドウを閉じます。
3. **PUT /clusters/{storageId}** を選択します。
4. \*試してみる\*を選択します。
5. 先ほどコピーしたストレージクラスタIDを`storageId`パラメータ。
6. リクエスト本文 フィールドで、次のパラメータの 1つまたは両方を変更します。

```
{  
    "password": "adminadmin",  
    "userId": "admin"  
}
```

パラメータ	タイプ	説明
password	string	ストレージ クラスターとの通信に使用するパスワード。
userId	string	ストレージ クラスターとの通信に使用するユーザー ID (ユーザーには管理者権限が必要です)。

7. \*実行\*を選択します。

## ストレージ クラスター アセットを削除する

ストレージ クラスターが使用されなくなった場合は、ストレージ クラスター アセットを削除できます。ストレージ クラスター アセットを削除すると、管理ノードから自動的に登録解除されます。



以下の手順に従ってください。ストレージ クラスター アセットのインストール ID とクラスタ ID を取得します。続行する前に。

### 手順

1. 管理ノードのIPアドレスに続けて、ストレージサービスのREST API UIにアクセスします。  
`/storage/1/`

```
https://<ManagementNodeIP>/storage/1/
```

2. \*承認\*または任意のロックアイコンを選択し、次の手順に従います。
  - a. クラスターのユーザー名とパスワードを入力します。
  - b. クライアントIDを入力してください mnode-client。
  - c. セッションを開始するには、[承認] を選択します。
  - d. ウィンドウを閉じます。
3. **DELETE /clusters/{storageId}** を選択します。
4. \*試してみる\*を選択します。
5. 先ほどコピーしたストレージクラスタIDを入力します。`storageId` パラメータ。
6. \*実行\*を選択します。

成功すると、API は空の応答を返します。

## 詳細情報の参照

- "[権威あるクラスター](#)"
- "[vCenter Server 用NetApp Elementプラグイン](#)"
- "[SolidFireおよびElementソフトウェアのドキュメント](#)"

## 既存のコントローラーアセットを表示または編集する

REST API を使用して、管理ノード構成内の既存の VMware vCenter コントローラに関する情報を表示したり、編集したりできます。コントローラは、NetApp SolidFireインストールの管理ノードに登録された VMware vCenter インスタンスです。

### 開始する前に

- クラスター バージョンでNetApp Elementソフトウェア 11.3 以降が実行されていることを確認します。
- バージョン 11.3 以降を実行している管理ノードがデプロイされていることを確認します。

## 管理サービスREST APIにアクセスする

### 手順

1. 管理ノードのIPアドレスに続いて、管理サービスのREST API UIにアクセスします。 /vcenter/1/ :

```
https://<ManagementNodeIP>/vcenter/1/
```

2. \*承認\*または任意のロックアイコンを選択し、次の手順に従います。
  - a. クラスターのユーザー名とパスワードを入力します。
  - b. クライアントIDを入力してください mnode-client。
  - c. セッションを開始するには、[承認] を選択します。

- d. ウィンドウを閉じます。

## 既存のコントローラに関する保存された情報を表示する

REST API を使用して、管理ノードに登録されている既存の vCenter コントローラを一覧表示し、それらに関する保存された情報を表示できます。

### 手順

1. **GET /compute/controllers** を選択します。
2. \*試してみる\*を選択します。
3. \*実行\*を選択します。

API は、各コントローラとの通信に使用される IP アドレス、コントローラ ID、ホスト名、およびユーザー ID とともに、既知のすべての vCenter コントローラのリストを返します。

4. 特定のコントローラーの接続ステータスを知りたい場合は、`id` そのコントローラーのフィールドをクリップボードにコピーして[\[既存のコントローラのステータスを表示する\]](#)。

## 既存のコントローラのステータスを表示する

管理ノードに登録されている既存の vCenter コントローラのステータスを表示できます。API は、NetApp Hybrid Cloud Control が vCenter コントローラに接続できるかどうかと、そのステータスの理由を示すステータスを返します。

### 手順

1. **GET /compute/controllers/{controller\_id}/status** を選択します。
2. \*試してみる\*を選択します。
3. 先ほどコピーしたコントローラーIDを `controller\_id` パラメータ。
4. \*実行\*を選択します。

API は、この特定の vCenter コントローラのステータスと、そのステータスの理由を返します。

## コントローラの保存されたプロパティを編集する

管理ノードに登録されている既存の vCenter コントローラの保存されたユーザー名またはパスワードを編集できます。既存の vCenter コントローラの保存された IP アドレスを編集することはできません。

### 手順

1. **PUT /compute/controllers/{controller\_id}** を選択します。
2. vCenterコントローラのコントローラIDを `controller\_id` パラメータ。
3. \*試してみる\*を選択します。
4. リクエスト本文 フィールドで次のいずれかのパラメータを変更します。

パラメータ	タイプ	説明
userId	string	vCenter コントローラとの通信に使用するユーザー ID を変更します (ユーザーには管理者権限が必要です)。
password	string	vCenter コントローラとの通信に使用するパスワードを変更します。

5. \*実行\*を選択します。

API は更新されたコントローラー情報を返します。

## 詳細情報の参照

- ["管理ノードにコントローラアセットを追加する"](#)
- ["vCenter Server 用NetApp Elementプラグイン"](#)
- ["SolidFireおよびElementソフトウェアのドキュメント"](#)

## プロキシサーバーを構成する

クラスターがプロキシ サーバーの背後にいる場合は、パブリック ネットワークにアクセスできるようにプロキシ設定を構成する必要があります。

プロキシサーバーは、テレメトリコレクターとリバース トンネル接続に使用されます。インストールまたはアップグレード中にプロキシサーバーをまだ構成していない場合は、REST API UI を使用してプロキシサーバーを有効にして構成できます。既存のプロキシサーバー設定を変更したり、プロキシサーバーを無効にしたりすることもできます。

プロキシサーバーを構成するコマンドは、管理ノードの現在のプロキシ設定を更新して返します。プロキシ設定は、Active IQ、NetApp 監視サービス、および NetApp サポートのリバースサポート トンネルを含む、管理ノードにインストールされている他の Element ソフトウェアユーティリティによって使用されます。

### 開始する前に

- 構成するプロキシサーバーのホストと資格情報の情報を知っておく必要があります。
- クラスター バージョンで NetApp Element ソフトウェア 11.3 以降が実行されていることを確認します。
- バージョン 11.3 以降を実行している管理ノードがデプロイされていることを確認します。
- (管理ノード 12.0 以降) プロキシサーバーを構成する前に、NetApp Hybrid Cloud Control を管理サービスバージョン 2.16 に更新しておきます。

### 手順

- 管理ノードの REST API UI にアクセスするには、管理ノードの IP アドレスに続けて /mnode:

```
https://<ManagementNodeIP>/mnode
```

2. \*承認\*または任意のロックアイコンを選択し、次の手順に従います。
  - a. クラスターのユーザー名とパスワードを入力します。
  - b. クライアントIDを入力してください mnode-client。
  - c. セッションを開始するには、[承認]を選択します。
  - d. ウィンドウを閉じます。
3. \*PUT /settings\*を選択します。
4. \*試してみる\*を選択します。
5. プロキシサーバーを有効にするには、設定する必要があります `use\_proxy` 真実に。 IP またはホスト名とプロキシポートの宛先を入力します。

プロキシユーザー名、プロキシパスワード、および SSH ポートはオプションであり、使用しない場合は省略する必要があります。

```
{  
  "proxy_ip_or_hostname": "[IP or name]",  
  "use_proxy": [true/false],  
  "proxy_username": "[username]",  
  "proxy_password": "[password]",  
  "proxy_port": [port value],  
  "proxy_ssh_port": [port value: default is 443]  
}
```

6. \*実行\*を選択します。



環境によっては管理ノードを再起動する必要がある場合があります。

## 詳細情報の参照

- "[vCenter Server 用NetApp Elementプラグイン](#)"
- "[SolidFireおよびElementソフトウェアのドキュメント](#)"

## 管理ノードのOSとサービスのバージョンを確認する

管理ノード内の REST API を使用して、管理ノード OS、管理サービスバンドル、および管理ノード上で実行されている個々のサービスのバージョン番号を確認できます。

### 要件

- クラスターはNetApp Elementソフトウェア 11.3 以降を実行しています。
- バージョン 11.3 以降を実行している管理ノードをデプロイしました。

### オプション

- [APIコマンドを使用します。](#)

- REST API UI の手順

## APIコマンドを使用します。

- 管理ノード上で実行されている管理ノード OS、管理サービス バンドル、および管理ノード API (mnode-api) サービスのバージョン情報を取得します。

```
curl -X GET "https://<ManagementNodeIP>/mnode/about" -H "accept: application/json"
```

- 管理ノードで実行されている個々のサービスのバージョン情報を取得します。

```
curl -X GET "https://<ManagementNodeIP>/mnode/services?status=running" -H "accept: */*" -H "Authorization: ${TOKEN}"
```



持ち主を見つけることができます `\${TOKEN}` APIコマンドで使用される"許可する"。持ち主 `\${TOKEN}` curl レスポンスにあります。

## REST API UI の手順

1. 管理ノードのIPアドレスに続いて、サービスのREST API UIにアクセスします。 /mnode/ :

```
https://<ManagementNodeIP>/mnode/
```

2. 次のいずれかを実行します。

- 管理ノード上で実行されている管理ノード OS、管理サービス バンドル、および管理ノード API (mnode-api) サービスのバージョン情報を取得します。

i. \*GET /about\*を選択します。

ii. \*試してみる\*を選択します。

iii. \*実行\*を選択します。

管理サービスバンドルバージョン("mnode\_bundle\_version")、管理ノードOSバージョン ("os\_version")、および管理ノードAPIバージョン("version")がレスポンス本文に示されます。

- 管理ノードで実行されている個々のサービスのバージョン情報を取得します。

i. \*GET /services\*を選択します。

ii. \*試してみる\*を選択します。

iii. ステータスとして「実行中」を選択します。

iv. \*実行\*を選択します。

管理ノードで実行されているサービスは、応答本文に示されます。

## 詳細情報の参照

- "[vCenter Server 用NetApp Element プラグイン](#)"
- "[SolidFireおよびElementソフトウェアのドキュメント](#)"

## 管理サービスからログを取得する

REST API を使用して、管理ノードで実行されているサービスからログを取得できます。すべてのパブリック サービスからログを取得することも、特定のサービスを指定してクエリ パラメータを使用して返される結果をより適切に定義することもできます。

### 要件

- クラスタ バージョンでは、NetApp Element ソフトウェア 11.3 以降が実行されています。
- バージョン 11.3 以降を実行している管理ノードをデプロイしました。

### 手順

1. 管理ノードで REST API UI を開きます。

- 管理サービス 2.21.61 以降:

```
https://<ManagementNodeIP>/mnode/4/
```

- 管理サービス 2.20.69 以前の場合:

```
https://<ManagementNodeIP>/mnode
```

2. \*承認\*または任意のロックアイコンを選択し、次の手順に従います。

- クラスターのユーザー名とパスワードを入力します。
- 値がまだ入力されていない場合は、クライアント ID を mnode-client として入力します。
- セッションを開始するには、[承認] を選択します。
- ウィンドウを閉じます。

3. \*GET /logs\*を選択します。

4. \*試してみる\*を選択します。

5. 次のパラメータを指定します。

- Lines: ログで返す行数を入力します。このパラメータはデフォルトで 1000 に設定される整数です。



Lines を 0 に設定して、ログ コンテンツの履歴全体を要求することを回避します。

- since: サービス ログの開始点に ISO-8601 タイムスタンプを追加します。



適切な `since` より広い期間のログを収集する場合のパラメータ。

- service-name: サービス名を入力します。



使用 `GET /services` 管理ノード上のサービスを一覧表示するコマンド。

- stopped: に設定 `true` 停止したサービスからログを取得します。

6. \*実行\*を選択します。

7. レスポンス本文から\*ダウンロード\*を選択して、ログ出力を保存します。

## 詳細情報はこちら

- "[vCenter Server 用NetApp Elementプラグイン](#)"
- "[SolidFireおよびElementソフトウェアのドキュメント](#)"

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。